



日本初の火山観測所「浅間火山観測所」

浅間山を
観測する

浅間山の観測が開始されたのは明治44年(1911年)のこと
で、黒斑山の火口底にあたる湯の平(標高2,000m)に、日本
初の火山観測所「浅間火山観測所」が開かれたことによる。した
がって、その観測の歴史もおよそ一世紀にも及ぼうという今日
である。

東京帝国大学大森房吉博士は、「火山噴火は多くの場合、多少
前知できうるもので、活火山に観測所を建設して不断の観測を
することが最も必要である」と述べ、長野測候所長の西澤順作測
候技師とともに浅間火山観測所の設立に尽力した。それは、我
が国の本格的な火山研究の始まりを告げる出来事でもあった。

しかし、湯の平観測所は、火山観測には適地であったが、標
高2,000mという気候条件や、噴火での噴石落下の危険性な
ど、諸条件から閉所となり、大正12年(1923年)安全性など
の確保される追分に移転、気象庁軽井沢測候所の前身となった。

一方、峰の茶屋(1,406m)には、東京大学地震研究所の付
属施設として、浅間火山観測所が昭和8年(1933年)に設け
られ、今日まで不断の観測が続けられている。



東大地震研究所の創立期のメンバー
(中央に「災害は忘れた頃にやってくる」の
名言で知られる科学者の寺田寅彦の姿も
みえる)

企画展 “浅間山 謎の大噴火”

■8月31日(日)までお見のがしなく! ■浅間縄文ミュージアム企画展示室

御代田町の人口(7月1日現在)

●人口 14,375人(先月比-9) 男 7,205人 女 7,170人
●世帯数 5,652世帯(先月比-8) ●外国人登録者数 799人

みよた広報 やまゆり ●発行/御代田町 〒389-0292 長野県北佐久郡御代田町大字御代田2464-2 ☎0267-32-3111



みよた広報やまゆりは、環境保全のため、大豆油インキを使用しています。